

REDLINE (2010)

メディア 映画 アニメ
ジャンル アクション SF
製作国 日本
色彩 Color
時間 102分
初公開日 2010/10/09
公開情報 東北新社
映倫 G
リバイバル 2021/02/26 [SPOTTED PRODUCTIONS=GASTONIA]

【キャッチコピー】

限界を超える

【解説】

「鮫肌男と桃尻女」の石井克人監督の原作を、「PARTY 7」「茶の味」ではアニメ・パートの演出を手掛けた「アニマトリックス ワールド・レコード」の小池健監督で映画化したマッドハウス制作のSFアクション・アニメ。遠い未来を舞台に、宇宙最速を決めるカーレース<REDLINE>で繰り広げられるルール無用の高速バトルの行方を、手描きにこだわった躍動感溢れる映像で描き出していく。声の出演は木村拓哉、蒼井優、浅野忠信。

はるか未来。抜群のドライビング・テクニックで草レースではほとんど負けなしのレーサー、JP。しかし、武器使用も認められている勝負の世界で、あくまで速さだけで戦い続けるJPのバカ正直な姿は、ともすれば揶揄の対象ともなっていた。そんな彼の憧れは、天才女性ドライバーのソノシー。いつか彼女を振り向かせたいと願いながらも、見た目には似合わぬシャイな純情ぶりで、ただ走りのみで己をアピールすることしかできずにいた。そんな中、宇宙最速を決める5年に一度の祭典<REDLINE>の予選に出場したJPだったが、相棒のメカニックの裏切りもあり本戦出場を逃してしまう。ところが、今回の開催地が悪名高い“ロボワールド”に決まったことから、出場を辞退する者が現われ、代わりにファン投票で選ばれたJPに千載一遇のチャンスが巡ってくるのだが…。

【クレジット】

| | |
|----------------|----------------------|
| 監督 | 小池健 |
| アニメーション制作 | マッドハウス |
| 製作 | 二宮清隆 |
| 企画 | 丸山正雄 |
| エグゼクティブプロデューサー | 福島正浩 |
| プロデューサー | 吉田健太郎 小池由紀子 |
| 原作 | 石井克人 |
| 脚本 | 石井克人 榎戸洋司 櫻井圭記 |
| 撮影監督 | 滝澤竜 |
| 特殊効果 | 谷口久美子 |
| 色彩設計 | 小針裕子 |
| 音響監督 | 石井克人 |

音響効果
音楽
整音
声の出演

| | | |
|---------|----------------|-----------|
| 清水洋史 | | |
| 坂本典之 | | |
| ジェイムス下地 | | |
| 丸井庸男 | | |
| 木村拓哉 | | J P |
| 蒼井優 | | ソノシー |
| 浅野忠信 | Tadanobu Asano | フリスビー |
| 我修院達也 | | リンチマン |
| 津田寛治 | | トラヴァ |
| AKEMI | AKEMI | ボスボス |
| 岡田義徳 | | ジョニーボーヤ |
| 森下能幸 | | シンカイ |
| 青野武 | | もぐらオヤジ |
| 石塚運昇 | | ボルトン大佐 |
| 石井康嗣 | | マシンヘッド鉄二 |
| 堀内賢雄 | | タイタン国防長官 |
| 廣田行生 | | ロボワールド大統領 |
| 三宅健太 | | デイズナ弟 |
| チョー | | イヌキ組長 |